

第6回JET地域国際化塾

～兵庫県の観光・物産等の世界への魅力発信と外国人の視点を活かした地域活性化～

総務省自治行政局国際室

令和3年10月27日（水）～29日（金）の3日間にわたり、兵庫県において「兵庫県の観光・物産等の世界への魅力発信と外国人の視点を活かした地域活性化」をテーマとして第6回JET地域国際化塾を開催しました。

1. 趣旨

人的交流プログラムであるJETプログラムに参加している外国青年（JET青年）は、地域社会との関わりを積極的に持つことを通じ、日本社会や日本人についての理解を深めるとともに、帰国後は日本と母国の架け橋となることが期待されている。

JET地域国際化塾は、JET青年に対して、地域文化の体験やグループワークなどを通じて、地域の魅力についての理解を深め、地域への参加・貢献について考えてもらうことを目的として、これまで5回開催しており、令和3年度は兵庫県との共催で実施したもの。（第1回は平成27年度に石川県、第2回は平成29年度に茨城県、第3回は平成30年度に青森県、第4回は令和元年度に宮崎県、第5回は令和2年度に鳥取県（オンライン）で開催。）

2. 日程

令和3年10月27日（水）から10月29日（金）まで

3. 会場

兵庫県神戸市 神戸国際会館
兵庫県丹波篠山市 市内視察先

4. 参加者

約80名

（ ・ J E T 青年（兵庫県内 J E T、県外 J E T）
・ 地方自治体、地域づくり活動関係者 など ）

第6回JET地域国際化塾(兵庫県) 実施概要

JET地域国際化塾の目的

地域で生活するJET青年と、自治体・地域活動関係者との出会い・交流の場である「JET地域国際化塾」を開催



- JET青年による地域への参加・貢献を促進
- 外国人の視点を地域活性化に応用

1日目(10月27日)

○地域振興活動事例の講演

丹波篠山市における地域振興活動事例に関する講演を通して、地域の魅力について理解を深める。

- ①丹波篠山まちのコンシェルジュ バリー・サンダース 氏
「丹波篠山市の魅力紹介、在住外国人としての地域貢献」
- ②地域リノベーター / (一社)ロコノミ代表理事 今村 俊明 氏
「古民家再生から生まれる地域の新しい価値づくり」



2日目(10月28日)

○現地視察(丹波篠山市)

1日目の講演を踏まえて地域づくりの現場を視察し、地域の魅力を肌で感じる。

- Aコース
篠山城大書院、歴史美術館、武家屋敷安間家史料館
- Bコース
春日神社、ほろ酔い城下蔵、まけきらい稲荷、河原町散策
- Cコース
陶々菴、西町ブリキ玩具製作所、集落丸山、篠山鳳鳴高校
- Dコース
陶の郷、陶芸体験、窯元路地歩き



3日目(10月29日)

○グループワーク

より多くの外国人に丹波篠山市を訪問してもらうため、外国人の視点からの丹波篠山市の魅力や改善点を発表。

○個人ワーク

地域の魅力を発信するために、それぞれが関わる地域でできることを考察。



成果発表の概要

JET青年が感じた丹波篠山市の魅力

○町並み・風景

- ・日本の伝統的な建物や田園風景の美しさ
- ・高い建物がほとんど無く、自然を広く見渡すことができるところ

○見学先や体験活動

- ・ガイドによる神社や陶器等にまつわる話
- ・甲冑体験、伝統的な町並みの散策、サイクリング、陶芸体験

○その他

- ・地域の特産品(黒枝豆、栗など)
- ・地域住民のホスピタリティ

より多くの外国人に丹波篠山市を訪問してもらうための提案

○交通アクセスの改善

- ・バスツアーの企画や、神戸三宮から丹波篠山へのシャトルバスの運行など

○情報の多言語化等

- ・観光地等の解説が多言語で掲載されたページにアクセスできるQRコードを各所に配置する
- ・日本独特の食材や、宗教上の理由で特定の食材を食べられない人がいるため、食事のメニューを詳細に記載する

○InstagramやTwitter等のSNSを中心としたインターネットでの情報発信

- ・英語のハッシュタグでSNSで発信するとともに、来訪者にも発信を促す
- ・Google MAPに掲載する情報を充実させる
- ・丹波篠山市でしか体験できないことをアピールする

JET青年の地域への関わり方について

○丹波篠山市との関わり

- ・講師の今村氏が行う古民家再生プロジェクトに参加

○自分が住んでいる地域との関わり

- ・地域に潜む魅力の見直し
- ・地域のイベントやボランティアに参加
- ・自分の街を紹介するコンテンツの作成や、SNSによる魅力発信

○一方で、「地域の人と交流したり、行事に参加してみたいが、きっかけがない。」という意見もあった。